

地域づくりレポート < 04 - 2月度レポート >

テーマ: 「道路」

報告者 黒沼貞志

1. 道路上の除雪:

(1) 除雪技術

これは伝聞で直接自分の眼で確認をしたわけではありませんが、業務に携わっている方にもお聞きしましたので確かかと思えます。

また、道路の管轄が国・県・市町村に分かれることや地域の道路事情、雪の量にも因るかもしれませんが、4地域の道路除雪の「技術差」が大きいことです。

その要因には、

* 業務に携わる業者のレベル

* 業者の建機のレベル

* 作業者のレベル

などが想定されます。

もちろん、支払われる対価の違いが有るかどうかは不明ですが、何れにしても税金が使われるので、この「技術差」の解消の策はないものでしょうか？

(2) 住民のモラル

車で除雪された道路を走っていて気になる点ですが、機械により除雪家の前に集められた雪を家の方が再度道路に撒き散らしている光景が散見されます(山形市内)。車で走るものにとっての我儘かもしれませんが、運転上危険性を感じます。

住民の方の気持ちも分らないわけではありません。家の前に集まった雪は硬く、水分も多く、融けにくく、道路から家までのアクセス確保に苦労しておられますので…。

この点については事項にて別の視点から触れます。

(3) 道路除雪後に必要な施策

これは国・県・市町村それぞれの行政レベルに共通する事ですが、道路除雪され家の前に山と積まれ、固まった、水分を含んで重たい雪をせめて家の入り口部分に限定してでも取り除くところまで委託業務範囲には入れられないのでしょうか？

これからの超高齢・少子化社会ではこの作業に苦労している声を多く耳にします。

このことが(2)項にて触れた現状の理由の一つになっているのかもしれませんが

2. 歩道の除雪

一部の新しい歩道ではロードヒーティングを取り入れているところも有ります。

その方式も多種ある点(地下水循環方式、電気式…)も承知しておりますが、それぞれの方式の年間運転コスト(初期工事費を償却年数で割ったもの、人件費 < IF ANY >、ユーティリティ費 < 電気代など >、その他)など可能な範囲の概略データをお知らせ願えませんか？

3.利雪

最上などの豪雪地域の情報として新聞などで取り上げられておりますが、折角の冷熱エネルギーの有効活用のアイデア、実証は充分なのでしょうか？

情報不足、勉強不足ですが倉庫みたいところに保存・蓄雪して夏場の冷房例熱源として使用しているような新聞記事を見たことがあります。

実際は様々な検討・試行・実証がなされていると思いますので可能な保有情報を開示願えますと幸いです。

以上